

# まつっこ

笠松町立松枝小学校  
令和4年度 学校だより  
10月28日発行 No.7



## ペイ フォワード

松枝小学校では、全校の子供たちがボランティアカード活動に参加し、大勢の子が羽島郡より表彰されました。多くのまつっ子たちが仲間のため、学校のために「ボランティア活動」に参加できました。全校の皆さん、いつもみんなのために本当にありがとう。

さて、20年ちょっと前に「ペイ・フォワード」という映画がありました。

この映画のあらすじは、次のようです。

中学1年生(アメリカでは7年生)になったばかりの少年トレバーは、社会科の最初の授業で、担当のシモネット先生と出会いました。先生は「もし自分の手で世界を変えたいと思ったら、何をやる?」という課題を生徒たちに与えました。生徒達のほとんどは、いかにも子供らしいアイデアしか提案できませんでしたが、トレバーは違いました。彼の提案した考えは、「ペイ・フォワード」。自分が受けた善意や思いやりを、その相手に返すのではなく、別の3人に渡すというものでした。トレバーはこれを実践しますが、なかなか上手くいかず、失敗だとあきらめかけました。しかし、彼の気づかないところで、このバトンは次々に受け渡されていました。

～ペイ・フォワード 可能の王国「ウィキペディア (Wikipedia): フリー百科事典」から引用～

「ペイ・フォワード」とは、「友達などから受けた親切を、また別の人への新しい親切でつないでいくこと」または「たくさんの人が親切の輪を広げていくための運動のこと」を意味する英語です。

映画では、一つ受けた善意を別の3人につなぐという設定でしたが、3人(3つ)でなくとも1人(1つ)でも十分「ペイ・フォワード」だと思います。

例えば、学校の誰かが次に使う人のことを考えて、スリッパをきれいにそろえておいたとします。次に使う子がそれに気づき、また次に使う子のことを考え、スリッパをそろえる。これも立派な「ペイ・フォワード」だと思います。このような思いやりの連鎖が、松枝小学校をより素敵な学校へ変えていくと思います。

松枝小学校の子供たちは、みんな優しい心の持ち主ばかりです。子供たちには、これからも相手を意識したボランティア活動が続けていってほしいと思います。「きっと誰かが喜んでくれるだろう(助かるだろう)」そんな温かい思いによる行動の連鎖が、松枝小学校にどんどん広がっていくことを願っています。

## 11月の予定

※10/27現在

11/1 (火)	委員会
11/2 (水) ~ 11/3 (木)	6年修学旅行 (京都・奈良)
11/3 (水)	文化の日 1~5年午前授業 (11時15分下校)
11/4 (木)	振替休業日
11/7 (月)	4年木登り体験 (予備日8日)
11/8 (火)	クラブ
11/9 (水)	2年社会見学 (河川環境楽園) 代表委員会 スクールカウンセラー来校
11/10 (木) ~ 11/11 (金)	5年宿泊学習 (岐阜市少年自然の家)
11/14 (月)	4年防災教育
11/15 (火)	委員会 発育測定 (ひまわり・1・2・3年) 健康タイム
11/16 (水)	1年社会見学 (岐阜県博物館) 発育測定 (4・5・6年)
11/17 (木)	教科等研究会 (5の1公開授業)
11/18 (金)	6年租税教室 朝読書の会 (高学年・ひまわり)
11/22 (火)	5時間授業
11/23 (火)	勤労感謝の日
11/24 (水)	なかよし遊び
11/28 (月)	6年社会見学 (リトルワールド)
11/29 (火)	委員会
11/30 (水)	専門性向上研修 全校研究会 (全校5時間授業) <写真3年バッタを見つけたよ!> スクールカウンセラー来校



### ■「地域ぐるみで子供を育てる」 地域の皆様ありがとうございます

キッズウィーク中、地域で行われた様々な活動に子供たちが生き生きと参加する姿が見られました。企画・運営でお世話になった皆様、子供の見守りや言葉かけ等で子供たちにかかわってくださった皆様、どうもありがとうございます。

日常の学校生活や学習、行事でも、地域の皆様には大変お世話になっています。

ふれあいたい(交通ボランティア)の皆様は、夏の暑い日も、雨の日も、寒さが厳しい日も、子供たちの登下校の見守りを続けてくださっています。「おはよう。今日も元気にがんばってね。」「おかえり。学校は楽しかったかね。」あたたかいお言葉もかけてくださいます。ありがとうございます。

コロナ禍がそうであったように、予測困難な将来、子供たちにとって辛いこと、難しいことはこれからも起こるかもしれません。でも、人とかかわるよさや温かさを感じながら地域で育った経験は、その子をきっと助けてくれる、その子に力を与えてくれると信じます。



※松枝小学校には、『交差点で止まってくださる車のドライバーに「ありがとうございます」の会釈ができる子』がいます。地域の中でこうした姿をどんどん増やしていきたいと思えます。

### ■「宿題・家庭学習の在り方を考える」

学習指導要領で強調されている「主体的な学び」。松枝小学校でも「自分事としての学び」をキーワードとして、授業改善、指導改善に取り組んでいます。そうした中、宿題・家庭学習についても職員で議論する場をもちました。今後、宿題及び家庭学習を次のようにしていきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

○その子の「やってみたい」「もっと学びたい」「力をつけたい」と思う気持ちを大切にします。

○これまでのように発達段階に応じて音読やドリル、プリント等、授業の進度に沿った学習内容を担任から「宿題」として提案していきます。ただし、やり方や量など、個に応じて柔軟に対応していきます。

○自主学習や「じぶんノート」など、自分で決めた学習を進めていくのもよいです。苦手なところは前の学年に戻って学び直したり、興味のあるところ、もっと学びたいところはどんどん進めたりしてほしいと思います。

○ドリルやプリント、ノートの丸うちは、これまでと同じように低学年のうちには保護者をお願いします。3年生以降は自分でできるようにご家庭での見届けをお願いします。

○タブレットドリルやタブレット版の計算・漢字ドリルも進んで活用してほしいと思います。答え合わせがその場でできるよさがあります。タブレットドリルでは、他の学年のものも利用できます。

職員による宿題の見届けについては、次のようにしていきます。児童が学校にいる間は教職員が児童と向き合う時間を優先するため、ノートやカード等の確認を短時間で終わらせ、印やサイン等をしてお返しします。どうぞご理解をお願いいたします。

